

てだこ市民大学第1期生



「卒業研究レポート」概要集

＜第1期生＞

コミュニティビジネス・地域振興学部・・・9名

健康福祉・スポーツ振興学部・・・・・・・・11名

文化振興・教養学部・・・・・・・・12名

地域・学校支援コーディネーター養成学部・15名

平成23年3月20日

浦添市「てだこ市民大学」

卒業研究テーマ一覧 {コミュニティビジネス・地域振興学部}

	氏 名	研究テーマ
1	金城久子	てだこウォークを楽しくするプロジェクト
2	金城幸弘	浦添市の歴史と地域芸能体感プログラム(市の観光資源と地域芸能を活用し、活気ある浦添市にしよう!)
3	今 隆春	てだこウォーク参加者早期1万人達成必達への道
4	佐久川正健	「お助け隊INおおひら」の設立について
5	仲間義彦	複合型老人介護事業
6	仲嶺まり子	ニッチ市場・心の満足・アドバイザー」
7	森口 拓	《てだこの都市・浦添～観光客が鈴なりだ～》
8	山里 功	介護保険、介護タクシーを起業するために
9	手登根仁美	地域コミュニティでの安全安心なまちづくり～小学校を拠点とした地域コミュニティで子ども達を見守るための生ごみ堆肥作りと花づくり＝宮城小学校編＝

卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名：金城 久子

1. テーマ

てだこウォークを楽しくするプロジェクト

2. 項立て（概要でも良い）

1. テーマ設定の理由
2. 内容
 - (1) てだこウォークの趣旨と現状
 - (2) プロジェクトの目的
 - (3) プロジェクトの内容・準備
 - (4) てだこウォーク当日の様子
 - ①あじさい公園での取組み
 - ②浦添ニュータウン自治会の取組み
 - ③本部での取組み
 - (5) てだこウォークでまちおこし
3. まとめ
4. 謝辞
5. 資料提供

卒業研究

学部名 コミュニティビジネス地域振興学部

氏名 金城 幸弘

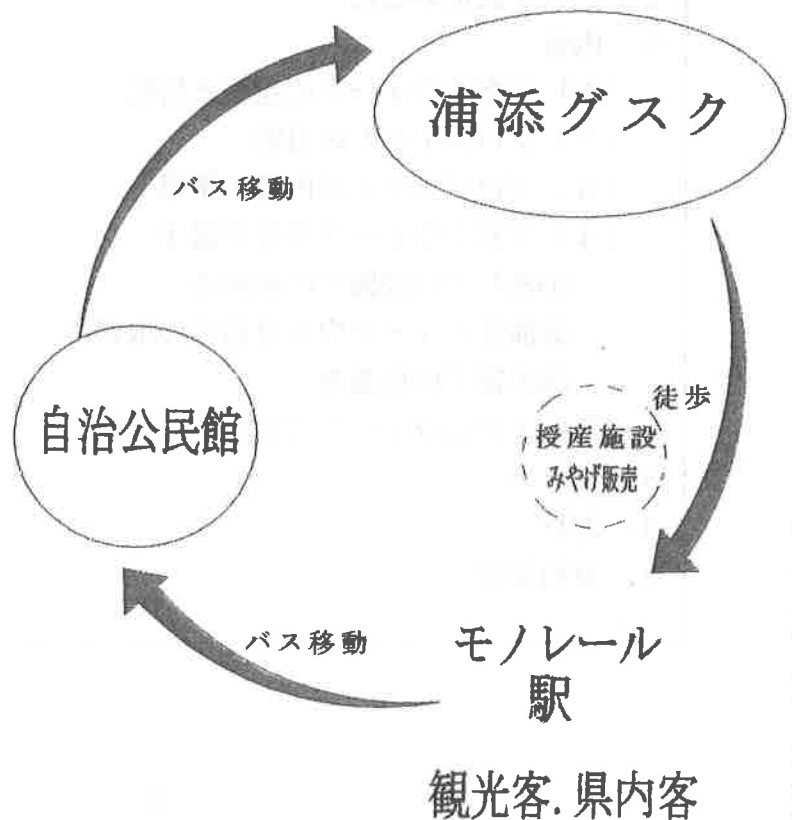
1. テーマ

浦添の歴史と地域芸能体感プログラム
(市の観光資源と地域芸能を活用し、活気ある浦添市にしよう!!)

2. 項立て

概要

観光客や県内客を
ターゲットに
各自治会で芸能を
披露し浦添グスクの
歴史散策のプログラム
を提供して浦添市
全体を芸能文化
観光地化にする。



卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名：今 隆春

1. テーマ

てだこウォーク参加者早期1万人達成必達への道

運営方法の要見直し

(業務としてではなく1万人達成の仕事として)

2. 項立て (概要でも良い)

1. 理由

- ①健康意識向上に向け多数の参加者を募っているが増えない。
- ②掛声は10年間1万人の参加者を目指しているが、2008年7回大会が8,089人がMAXで2011年に於いても7,624人であり横ばい状態である。
- ③観光都市で生き抜くと言われ久しいが県外の参加者数は直近5年間で1,238人の参加者数で、はなはだ低い3.3%のである。

2. 内容

- ①市・県内外の参加者数を大幅に増すには
 - イ) 告知方法の現状把握と今後のあるべき姿
 - ～1. この時期沖縄県の地理的特性を生かした展開方法考える
 - ～2. 年齢特性を踏まえアプローチ
 - ～3. アイディアをどのような形で吸い上げ反映していくべきか
 - ～4. 県外人の誘客を増やすには

3. まとめ

- ①10年間の棚卸しをして毎年レベルアップし、参加した人からまた翌年も参加したいと言われる大会にし、その結果、早期に1万人の達成へ結び付ける。
- ②大会のレベルを益々上げて行く為に各部会の反省会を10日以内に開催し次年以降の参考の記録として残す。

卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名：佐久川 正健

1. テーマ

「お助けし隊 I N おおひら」の設立について

2. 項立て（概要でも良い）

1. 設定理由

2. 研究内容 「お助けし隊 I N おおひら」の事業内容

① 運転代行・買い物代行事業

・ 代行が必要な人リスト

・ 代行業者リスト

② 困りごと相談事業

○ 「てだこウォークを楽しくするプロジェクト i n あじさい公園」を終えての後輩へ送る感想文

卒業研究

学部名：コミュニティ・ビジネス・地域振興

氏名：仲間 義彦

1. テーマ

複合型老人介護事業

2. 項立て（概要でも良い）

- ・ 高齢化社会や無縁社会（家族と地域とのつながりが薄れる）のなかで、高齢者の孤独死が増加傾向にあり、社会保障制度の崩壊が危惧されている。
- ・ これらの問題を解決する手段の一つとして独立採算性のある介護事業（海外からの富裕層向けの医療事業と地域の要介護者への介護事業の併用）が模索できないか調べる。

卒業研究

学部名 コミュニティビジネス地域振興学部
氏 名 仲嶺 まり子

1 テーマ

ニッチ市場・心の満足・アドバイザー

2.項立て

- ①市民大学で学んだ事の感想文
- ②地域力、人間性を生かした、今必要とされている時勢に合ったすきま市場
- ③信頼関係を充実させて信用をビジネスにするには…
- ④対象、方法、事例等について
- ⑤まとめ

卒業研究

学部名： コミュニティビジネス・地域振興

氏 名： 森口 拓

1. テーマ

《 てだこの都市・浦添 ^{まち} ～観光客が鈴なりだ～ 》

2. 概要

本研究は、浦添市の観光産業について、沖縄県観光産業の一環としての位置付けの基に、その基本理念（基本構想）、実体（現況）、展望などを述べ、更に考察を加えたものである。

浦添市の観光産業は、県内他地域の観光地に比して、観光資源、受入体制などの貧弱さに起因して、決して盛況とは言えないが、観光産業の及ぼす街自体の活性化、市の収入財源としての有望性などに鑑み、その更なる発展を模索したものである。

その結果、以下の事項について、提言のようなものを挙げる。

- *観光産業振興の関係機関の組織改革
- *観光産業振興の取り組みの基本理念
- *観光案内標識の整備
- *浦添グスクの整備
- *浦添の特産品の確立
- *てだこウォークの充実
- *都市モノレール延伸に伴う新駅周辺の整備
- *西海岸開発地帯と米軍基地牧港補給庫跡地帯における新観光資源の創出

卒 業 研 究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名：山里 功

1. テーマ

介護保険・介護タクシーを起業するために

2. 項立て（概要でも良い）

浦添市内において、体の不自由なお年寄り、障害者、
1人では公共交通機関に乗れない方の移動支援介護
タクシー、または介護タクシーは、利用者の家族等も
同乗できるメリットがあり、そのメリットを活用し、
観光客向けのプランを作成して、沖縄、浦添の観光に
つなげていきたいと考えている。

卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名：手登根 仁美

1. テーマ

地域コミュニティでの安全安心なまちづくり
～小学校を拠点とした地域コミュニティで
子ども達を見守るための生ゴミ堆肥作りと花づくり～
＝宮城小学校編＝

2. 項立て（概要でも良い）

- 1 はじめに
- 2 自宅玄関前でのあいさつ運動が習慣化（定着）できなかった原因について
 - （1）機会がない
 - （2）興味・関心がない
 - （3）ゆとりがない
 - （4）広報が足りない
- 3 習慣化（定着）するためのしかけ作り
 - （1）プランターの配布
 - （2）興味・関心、地域への意識作りへのきっかけ
 - （3）得した気持
 - （4）“物”で広報
- 4 しかけのモデルプランについて
 - （1）生ごみ堆肥作り
 - （2）花づくり
- 5 資金計画について
- 6 付随効果について
- 7 おわりに
- 8 謝辞
- 9 参考文献
- 10 添付参考資料

卒業研究テーマ一覧 {健康福祉・スポーツ振興学部}

	氏 名	研究テーマ
1	上原真弓	ピンピンころりを目指して～食事をおいしく食べる為に～
2	島袋 愛	いつまでも健康で、太らず病気にならない食生活を～健康長寿の推進を図り、浦添市の医療費削減、メタボ対策をめざして～
3	知名 弘	国技相撲を生涯スポーツとしての位置づけをめざして
4	豊里裕夫	浦添市の「福祉事業の取り組み」と「潤いのあるまちづくり」は？
5	濱元節子	元気ある高齢者(65歳以上)で過ごすためには介護保険認定を受けない
6	比嘉鉦由	「地域力」・「地域力向上とスポーツ」(みんなのスポーツとしてのグランド・ゴルフ)
7	福地理奈	生活習慣病を予防するためにできること
8	前原洋人	バレーボールの競技力向上と健康増進～一番安い薬は運動だ～
9	又吉武市	高齢者の健康づくりとスポーツ～中高齢者の健康づくりと地域のつながりについて～
10	又吉賜子	体重減量のもたらす影響をふまえて～国吉先生の変貌に触発され実践～
11	宮里恵美子	心肺蘇生法を学ぼう ～愛する人の命を助ける～

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：上原真弓

1. テーマ

ピンピンころりを目指して
～食事をおいしく食べるために～

2. 項立て（概要でも良い）

- ・ 噛むことの大切さ

身体バランスの影響

脳への刺激

- ・ 口腔ケア

歯磨きの歴史

義歯について

- ・ 食べやすい食事

介護食（飲み込みやすく、食べやすい食事）について

- ・ 地域での活動について

ボランティア（給食、食育等）

専門家による講演会の開催等

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：島袋 愛

1. テーマ

いつまでも健康で、太らず病気にならない食生活

～健康長寿の推進を図り、浦添市の医療費削減、メタボ対策をめざして～

2. 概要

1. テーマ設定理由

昨年までの過去4ケ年、浦添市民の死因が多い順でガン、心疾患、脳血管疾患である。それらはすべて栄養療法で解決出来るとされている。食べた物が血液の質となり、細胞の質となり、体質となるのである。病気は結果論である。食事が薬である。健康に深く関わる食生活、「いつまでも健康で、太らず病気にならない食生活」を研究したいと思う。

2. 研究概要

- (1) 人間は何で出来ているの
- (2) 細胞を酸化させ、病気を発生させる活性酸素とは
- (3) 細胞の酸化に対抗する抗酸化力の一番強いドライプルーン(エキス)を常食としてよう
ガンに勝つ、プルーン(エキス)はビタミンやミネラルが豊富
いかに細胞の酸化を防ぐかが、若さと健康の秘訣と云われている
- (4) 血液は何でつくられるの、サラサラ血液、ドロドロ血液とは
- (5) いつまでも健康で、太らず病気にならない食生活とは
- (6) 私は訴える！健康の要素は、栄養・運動・休養・リンパ療法である
- (7) リンパ療法の効果：実践アンケートより

3. まとめ

毎日、9品目＋オプション(炭水化物・果物)を食べると「いつまでも健康で、太らず病気にならない食生活」が出来ると確信する。9品目とは、『野菜・海藻・魚・肉・卵・貝・豆類・乳製品・油脂』を毎日摂る。食事は年代によって栄養の摂り方が異なる。抗酸化力の一番強い、ビタミン、ミネラルが豊富なプルーン(エキス)を健康維持の為に常食しましょう。

4. 今後の課題

- (1) 一般食品に使われている防腐剤や農薬、食品添加物使用を国民の為にものと規制していただきたい。県民の意識改革と行政のさらなる対策や食戦が必要である。
- (2) 医療界は栄養学を重視し、薬事法を再検討していただきたい。薬は副作用を伴う。

5. 参考文献：「新ビタミンCと健康」著者村田晃、「プルーン」著者久郷晴彦 etc.

6. 謝辞：講師の先生方そしてスタッフの皆様方の御指導大変ありがとうございました。浦添市の歴史、福祉、スポーツ、文化、教育等、学んだ事を今後に活かしたいと思います。

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：知名弘

1. テーマ

国技相撲を生涯スポーツとしての位置づけを
めざして

2. 項立て（概要でも良い）

相撲は古来から、武技、遊戯の二面を備えて広く行われ、
近世になると、スポーツとして育成され大衆に愛好されてきた。
現在では、大相撲、小・中・高校・大学・一般としてそれ
ぞれの競技団体等の大会が実施され、競技大会に向け育成が
行われている。

その相撲を競技大会に参加するための鍛錬のみでなく、健
康スポーツとしての普及を図っていただければと思う。相撲は生
涯スポーツとして体の柔軟性をつくりあげ、ストレッチ運動
として他スポーツに相通じるものがあり、最適な運動である。

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：豊 里 裕 夫

1. テーマ

浦添市の「福祉事業の取り組み」と「潤いのあるまちづくり」は？

2. 項立て（概要でも良い）

浦添市の歴史的背景

- ①、本市における要老人福祉とまちづくり
- ②、障がい者福祉とまちづくり
- ③、市民の健康維持のための特定検診の取り組み
- ④、生涯スポーツを通してのまちづくり
- ⑤、障がい者のスポーツとまちづくり
- ⑥、まとめ

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：濱元 節子

1. テーマ

元気な高齢者（65 歳以上）で過ごすためには
☆介護保険認定を受けない

2. 項立て（概要でも良い）

- 1) 地域福祉センター 3か所
トレーニングルーム利用状況
- 2) サークル活動、団体数、場所の提供
- 3) 介護保険の現状
- 4) 地域の力とネットワーク

卒業研究

学部名：健康・福祉・スポーツ学部

氏 名：比嘉鉦由

1. テーマ

「地域力」・「地域力向上とスポーツ」
(みんなのスポーツとしてのグラウンド・ゴルフ)

2. 項立て (概要でも良い)

I. テーマ設定理由

II. 内容

1 地域力について

- (1) 地域力の意味
- (2) 地域力が取り上げられる背景
- (3) 地域力の動機付けとなる市民への公報・公聴の現状
- (4) 自治会の地域力 (自治会力)
- (5) 地域力が最も必要とされる場面

2 地域力向上とスポーツ (グラウンド・ゴルフ)

- (1) スポーツの大衆化「みんなのスポーツ」
- (2) 市民スポーツ施設の利用状況
- (3) スポーツの効用
- (4) グラウンド・ゴルフ

III. まとめ

IV. 参考文献、資料等

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 福地 理奈

1. テーマ

生活習慣病を予防するためにできること

2. 項立て（概要でも良い）

1. 浦添市の老人医療費の現状について
2. 健康診断の結果からみえること
3. 生活習慣病に起因する病気
4. 若い年代に必要な生活習慣病の予防
5. 一般健康診断・特定健康診断の受診率を高める必要
6. これからできること

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：前原 洋人

1. テーマ

バレーボールの競技力向上と健康増進
～ 一番安い薬は運動だ ～

2. 項立て (概要でも良い)

1. バレーボールを通じての健康増進を論じる。
2. スポーツクラブのデータを素に現状を説明
3. 改善策

卒 業 研 究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：又 吉 武 市

1. テーマ

高齢者の健康づくりとスポーツ
〔中高齢者の健康づくりと地域のつながりについて〕

2. 概 要

近年の地域（仲間自治会）内に於いても住民が多くなり中高年の人々も多くなっている。

高齢化率（12.2%）も年々高くなっている。

そのような中であって、地域とのつながりがうすれ、家庭内に閉じこもり（特に男性）の人々が多く、健康を害して、生活習慣病の糖尿病透析で入院患者が多く発生しており、身障者にあって、高額医療費に結びつくような状況にある。

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：又吉 奨子

1. テーマ

体重減量のもたらす影響をふまえて
—国吉先生の変ほうに 触発され実践—

2. 項立て (概要でも良い)

1. テーマ設定理由
2. 本論
 - (1) なぜ減量に真陰に取りくまひいか。(必きあひひか)
 - (2) 過去の減量失敗
 - (3) 生活習慣病とは
 - (4) メタボリック症候群とは
 - (5) 1年半の実践例
3. 考察
4. 課題

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：宮里 恵美子

1. テーマ

心肺蘇生法を学ぼう
～愛する人の命を助ける～

2. 項立て（概要でも良い）

1 テーマ設定理由

2 本論

①重要性について（データーなど）

②救急車到着までにできる事

③救急法のやり方（成人・小児）

④AED について

3 今後の取り組みについて

4 救命講習会について（情報）

5 テーマにそった私の意見

卒業研究テーマ一覧 {文化振興・教養学部}

	氏 名	研究テーマ
1	栗国孝信	城間松明大綱引きについての考察
2	安里善好	時代の教訓から学べ
3	金城武信	本大学(学部)に入学について
4	古波蔵 豊	又吉村創立の伝承考察
5	末吉 忍	うちなあぐちを消さないために今できること
6	玉城 実	組踊・主として執心鐘入(玉城朝薫作)について
7	津波古重男	伊祖の古村落の祭祀信仰と習俗 ～伊祖のムラ・門中の祭祀にみる～
8	仲村盛栄	卒業の後 社会に御報恩をしなければ！
9	仲村正夫	地域資源(文化遺産、伝統・創作芸能、各種NPO等)の利活用「2つの企画提案」
10	松田長栄	・前田の棒術 ・獅子舞
11	宮里君子	1. 琉球舞踊(特に古典)に使用される歌詞と本歌の対比 2. 琉球舞踊界における家元の呼称
12	銘苅則夫	察度王の歴史的事蹟の学びから、浦添市のまちづくり及び経済発展の方策を探る

卒 業 研 究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：栗 國 孝 信

1. テーマ

城間松明綱引きについて

2. 項立て（概要でも良い）

○城間松明綱引きの昔と今

○今後の展望

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏名：安里善好

1. テーマ

時代の教訓から学べ

2. 項立て（概要でも良い）

- 学びに終わりはない
- 天災と人災の教訓
- 地球温暖化は人災だ
- 歴史から平和を学べ
- 講師諸にお礼と感謝

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏名：金城武信

1. テーマ

本大学(学部)入学について

2. 項立て(概要でも良い)

1. 本市の歴史、文化・芸能の把握
2. 居住する地域及び市全体の名所
及び拝所等 地理に関する知識
3. 講師の諸先生方及び本大学の事務局
諸職員とのコミュニケーションがとりやす

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：古波蔵 豊

1. テーマ

又吉村創立の伝承考察

2. 項立て（概要でも良い）

「おもろさうし」は巻15の11で浦添間切に又吉村があったと詠っている。しかしながら、その村はいつ創設され、いつ城間村と合併したか不明である。であるならば、地域に残っている伝承や、家譜等から探すしかない。城間村は、伝承として佐敷・城間地域に第1尚氏の尚思紹王次男美里按司と言われている。

城間 津留見家譜の中では第1尚氏美里按司の長男又吉按司が又吉村の創立者であると表記されている。

年代は不明だが、又吉村を創立したのは、又吉按司であると結論。

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：末吉 忍

1. テーマ

うちなあぐちを消さないために今できること

2. 項立て（概要でも良い）

うちなあぐちは「琉球語」とも「沖縄語」とも呼称される。方言札という屈辱的な経験を経て、うちなあぐちは心の片隅に残っているが、悲しいことに現在の若者は、ほとんどがうちなあぐちを話すことができない。それはなぜか。さまざまな理由が考えられるが、今日の状況を戦後から現在までもう一度見直すことによって、原因や人々の変化が見えてくるのではないか。

うちなあぐちを残すために何が必要なのか考察する。

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：玉城 実

1. テーマ

組踊り・主として執心鐘入（玉城朝薫作）について

2. 項立て（概要でも良い）

1. 組踊りとは
2. 組踊りの主題
3. 組踊りの様式
4. 執心鐘入について
5. 結論

卒 業 研 究

学部名： 文化振興・教養学部

氏 名： 津波古重男

1. テーマ

ー伊祖のムラ・門中の祭祀にみるー

伊祖の古村落的祭祀信仰と習俗

2. 項立て（概要でも良い）

卒業研究は、二部構成となっています。

第1部は、1章～3章で構成し、琉球・沖縄・浦添における考古学的・歴史的見地から、先史時代から現代にいたる歴史的流れを概観した。また、浦添における伝統的祭祀信仰と年中行事を整理し、浦添グスクにおける祭祀信仰との関係性を試みた。

第2部では、4章～7章で構成している。4章～6章では、伊祖ムラにおける古村落的祭祀信仰・年中行事や伝承を中心にして概観し、御嶽や殿や井泉など聖処を実際に確認した。最終の7章では、現在、自治会や門中で実施している祭祀行事に参加して直に確認することを試みた。また、その際の同行記録写真をまとめて掲載した。

※ 浦添市史第1巻・2巻・4巻を主として、関係する文献・史料等によりまとめた。

※ 卒業研究のまとめにあたり、伊祖自治会（銘苅嘉市会長）には多くの地域情報を提供していただきました。また祭祀行事に参加することを快く了承いただきました。ここに深くお礼申し上げます。

卒 業 研 究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：仲村 盛栄

1. テーマ

※ 卒業の後 社会に御報恩をしなければ！

2 概要

- | | |
|-----|-----------------|
| 第1章 | 研究の背景 |
| 第2章 | 卒業後の課題 |
| 第3章 | 琉球国の歴史に対する私見 |
| 第4章 | おもろそうし・について |
| 第5章 | 内間集落の変遷について |
| 第6章 | 田場 盛儀外交官の足跡を訪ねて |

卒業研究

学部名： 文化振興・教養学部

氏 名： 仲 村 正 夫

1. テーマ

地域資源（文化遺産、伝統・創作芸能、各種NPO等）の
利活用「2つの企画提案」

2. 項立て（概要でも良い）

1. はじめに
2. 研究概要
3. 仮称「万国津梁祭」
「概念図」
4. 仮称「てだこウォークレーぶんコース〇〇」
「概念図」
5. 検討課題
6. 結論
7. 参考文献・資料
8. あとがき

卒業研究

学部名：文化振興教養学部

氏名：松田長栄

1. テーマ

- ・ 前田の棒術.
- ・ 獅子舞.

2. 項立て (概要でも良い)

- ・ 前田の棒術.
外の地域と対比(術卒)
時代的背景
- ・ 獅子舞.
勢理客の獅子「舞」や「踊」
演舞の対比、時代的背景.

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：宮里 君子

1. テーマ

- (1) 琉球舞踊（特に古典舞踊）に使用される歌詞と本歌の
対比
- (2) 琉球舞踊界に於ける家元の呼称

2. 項立て（概要でも良い）

- ・ 琉球舞踊に使用される歌詞と本歌の対比

祝座の幕開きに踊られる「かじゃで風」と最後に踊られる御後段踊りの「しゅんどう」、そして女七踊りの内の大踊（伊野波節、諸氏、作田）について、その歌詞と本歌の対比、ほかの四題（かせかけ、天川、本貫花、柳）は使用曲名のみ。

- ・ 琉球舞踊界の家元制

一流派（玉城流）に多数の家元が存在する不思議。

卒業研究

学部名： 文化振興・教養学部

氏 名： 銘 莉 則 夫

1・テーマ

察度王の歴史的事蹟の学びから、浦添市の街づくり及び経済発展の方策を探る。

2・項立て（概要でも良い）

一 ぢゃなもひや たがなちやる くわが
こがきよらさ こがみぼしや あるよな
又 ももぢゃらの あぐで おちやる こちやぐち
ぢゃなもいしゅ あけたれ
又 ぢゃなもいが ぢゃなうへばる のぼて
けやげたるつよは つよからど かばしやある

これは、「おもろさうし」（1531年から1623年かけて首里王府が編纂全22巻）
巻14の1に、察度王を賛歌している「おもろ」である。

昭和63年泉州市が中国産の青石に字を刻んで寄贈した碑（揮毫は砂川米市氏）
が、察度王縁の地である牧港漁港の一角に、遙か泉州市向かって誇らしげに建
っている。察度王は、1372年、明王朝（1368年建国）の洪武帝・朱元璋の求
めに応じ、王舅、泰期を使者に立て明国と朝貢儀礼を結び、以後琉球国は500
余年に亘り、明及び清王朝と朝貢関係を維持し、中国の先進文物文化等を取り
込み、琉球国の発展に寄与した。

察度王は冊封（領封は受けた？）こそ受けなかったけれども、在位中毎年とい
うほど進貢し、その回数32回に及んだとか・・・・・・後は本論にて記述しま
す。

卒業研究テーマ一覧 {地域・学校支援コーディネーター養成学部}

1	阿波連秀敏	学校と家庭・地域を結び付けるコーディネーターを目指して ～小学校のボランティア活動を通して～
2	新川律子	人と人をつなぐ見える学校支援のあり方～ボランティアコーディネートの実践にあたり～
3	池原寛安	仲西中学校主催 仲西中学校区PTA(仲西中・浦城小・宮城小・仲西小) 地域・家庭・学校をつなぐ学校支援～名刺交換会のイベントから～
4	川満裕子	
5	親盛徳三	講話活動と青少年健全育成～ある青年の絶望と這い上がりの青春
6	嘉陽律子	地域・学校支援コーディネーターとしての自己実現 ～ふれあいサロン・保育園児との関わりを通して～
7	城間 剛	自治会活動と自治会員を結びつける ～自治会広報を用いた地域づくり～
8	末吉由美子	3世代交流を深める自治会活動～多くの人を巻き込む行事のありがた～
9	知念賢世	地域力の向上を目指す学校・家庭教育支援の工夫～小学校でサポーター養成講座の実施を通して～
10	當銘清光	みんなで育む楽しい学校づくり～教育相談ボランティア活動の活性化を通して～
11	仲西郁代	学校支援コーディネーターのシステムづくり
12	比嘉進喜	学校支援と地域コーディネーターの役割～学校支援本部と地域コーディネーター～
13	宮里時子	学校とボランティアをつなぐには
14	宮平千夏	子どもの“夢”実現サポーター～キャリア教育支援プランを通して～
15	桃原美雪	学校・家庭・地域・関係機関の架け橋 ～15年間の子育てを通して～

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：阿波連 秀敏

1. テーマ

学校と家庭、地域を結び付けるコーディネーターを目指して
～小学校のボランティア活動を通して～

2. 項立て（概要でも良い）

1. 設定理由
2. 学校におけるボランティア活動
 - (1) 現状調査
 - (2) 分析結果
 - ①属性分類
 - ②活動場所
3. いつでも、どこでも、誰でも出来る活動
4. 今後の課題
 - (1) 広報活動
 - (2) ボランティア員の確保
5. まとめと反省
6. 謝辞

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：新川律子

1. テーマ

人と人をつなぐ見える学校支援のあり方

～学校支援を実践するためには～

2. 項立て（概要でもよい）

1. テーマ設定の理由
2. 研究の目的
3. 本論（見える支援をするために）
 - （1）学校の現状
 - （2）地域ボランティアを活用して解決する方法
 - （3）地域ボランティアを活用するために必要なコーディネーター
 - （4）実践モデル
4. 考察
5. 参考文献
6. 謝辞

卒業研究

地域・学校支援コーディネーター養成学部

池原 寛安

川満 裕子

1. テーマ

仲西中学校主催

仲西中学校校区PTA（仲西中・浦城小・宮城小・仲西小）

地域・家庭・学校をつなぐ学校支援

～名刺交換会のイベントから～

2. 項立て

- 1 テーマ設定の理由
 - (1) 動機について
- 2 本 論
 - (1) 立案及び会議
 - (2) 実践
 - (3) 課題と成果
- 3 考 察
- 4 謝 辞

てだこ市民大学卒業研究

学部名： 地域・学校支援
コーディネーター養成学部

氏 名： 親 盛 徳 三

1. テーマ

講 話 活 動 と 青 少 年 健 全 育 成
～ある青年の絶望と這い上がりの青春～

2. 項立て（概要でも良い）

1. テーマ設定

2. 研究内容

- 1) 出会い『すばらしい仲間』
- 2) 活動『高等学校・沖縄少年院・中学校・セルフストーリーオペラ』
- 3) 次の年の為に『継続・組織』

3. まとめ

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：嘉陽 律子

1. テーマ

地域・学校支援コーディネーターとしての自己実現
～ふれあいサロン・保育園児との関わりを通して～

2. 項立て（概要でも良い）

2. テーマ設定理由

コーディネーターとは何か、コーディネーターはどうあるべきかを学び、知識を高め、資質を磨き、学校・地域に役立てるため、本テーマを設定した。

3. コーディネーターの概要（説明）としくみ（図示）

4. コーディネーターの心得

主体性、非営利性、公益性、先駆性等

5. 学校ボランティアとは

6. ボランティアの学校・地域支援の必要性

7. ボランティアと学校・地域の連携、協力のあり方

8. ボランティアの活動内容例

9. 居住地（浦添ニュータウン）の特色

10. 居住地での実践活動

11. おわりに

12. 付録（写真で垣間見た市民大学）

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：城間 剛

1. テーマ

自治会活動と自治会員を結びつける
～自治会広報を用いた地域づくり～

2. 項立て（概要でも良い）

1. テーマ設定理由
2. 本論
 - (1) 広報の月2回定期発行について
 - (2) 広報の掲載情報の収集
 - (3) 広報の文章表現方法の統一
 - (4) 広報の見やすい写真の掲載
 - (5) 自治会内掲示板(物)及び自治会事務所周囲ののぼりと広報との連携
 - (6) その他広報活動について
3. 考察
4. 今後の課題
5. 参考文献
6. 謝辞

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター

氏名：末吉 由美子

1. テーマ

自治会を中心にするところから大人、高齢者など
どのように交流を深めていくか？

2. 項立て（概要でも良い）

・現代の社会は核家族が多数となり、
地域住民、そして隣人の存在さえも知ら
ないという時代になりました。このままでは
ますます子供達の育つ環境は悪くなる一方です。
「そこで意識的に地域に巻き込む様にするには、
行事等を通して社会性を身につけさせたい」と考えます。

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：知念 賢世

1. テーマ

地域力の向上を目指す学校・家庭教育支援の工夫
—小学校でサポーター養成講座の実施を通して—

2. 項立て（概要でも良い）

- I テーマ設定の理由
- II 研究内容
 - 1 研究の全体構成
 - 2 学社連携と学社融合について
 - 3 地域連携と地域連携担当教員について
 - 4 確かな学力の向上について
 - 5 学校支援地域本部事業について
 - 6 放課後子どもプランについて
 - 7 PTA について
 - 8 家庭教育学級について
 - 9 家庭教育について
 - 10 親学について
 - 11 公民館について
- III 学校・家庭支援教育チーム学習プログラム（個別事業計画）
- IV まとめと今後の課題

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：當 銘 清 光

1. テーマ

みんなで育む楽しい学校作り

(教育相談ボランティア活動の活性化を通して)

2. 項立て (概要でも良い)

1. テーマ設定の理由

2. 本論

- (1) 呼び出し面接
- (2) 自主来談の面接
- (3) グループ面接
- (4) 養護教諭との連携
- (5) 保護者との連携
- (6) 学級担任との連携
- (7) 児童生徒の相談内容と秘密保持
- (8) 面接に於ける教育相談者と対象者の位置関係

3. 考察

4. 今後の課題

5. 参考文献

6. 謝辞

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：仲西郁代

1・テーマ

学校支援コーディネーターのシステムづくり

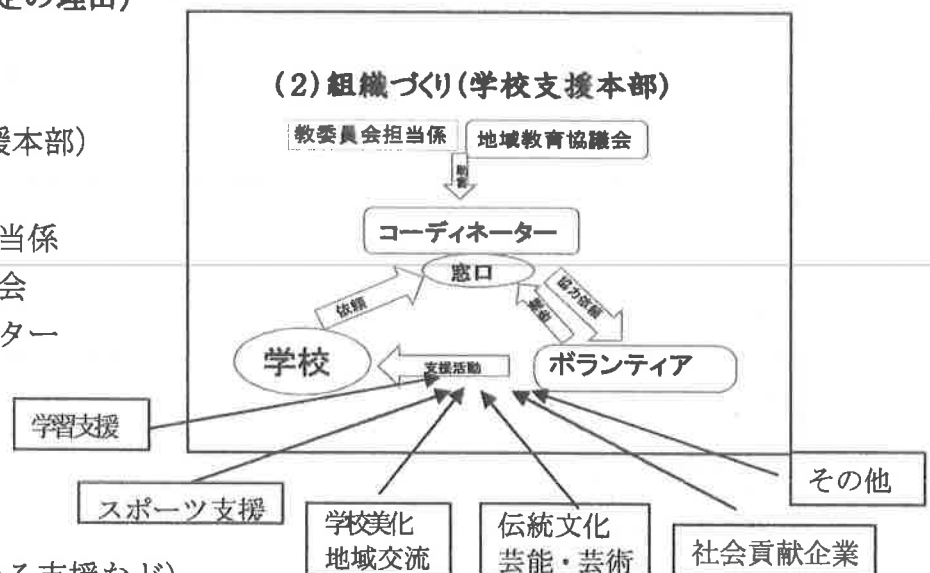
2・項立て

1 はじめに（テーマの設定の理由）

2 本論

- (1) 活動の場
- (2) 組織づくり（支援本部）

- ① 教育委員会担当係
- ② 地域教育協議会
- ③ コーディネーター
- ④ ボランティア



(3) 情報収集

- ① 学校（求めている支援など）
- ② 地域（大学生・地域の人材の掘り起こし）

(4) ボランティア・コーディネーターの研修と交流

(5) 実践

① 学習支援

（個別指導、土曜塾、不登校児童への指導、特別支援児童へのサポート）

② スポーツ支援（部活、水泳補助員など）

③ 芸術文化（芸能・芸術）

④ 学校美化、環境整備

⑤ 地域交流、自治会行事

⑥ 生活指導（おしゃべりコーナーなど）

⑦ 総合学習（畑の先生、料理の先生など）

⑧ 保育支援（授業参観、子育て相談など）

(6) 検証（記録、反省、改善、評価、表彰など）

3 考察

4 参考資料

5 謝辞

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：比嘉 進喜

1. テーマ

学校支援と地域コーディネーターの役割
学校支援地域本部と地域コーディネーター

2. 項立て（概要でも良い）

1. テーマの設定理由（ねらい参照）
2. 本論
 - （1）学校支援と本部地域コーディネーター
 - （2）学校支援地域本部の構造
 - ※仕組み
 - ア. 地域コーディネーター
 - イ. 学校支援ボランティア
 - ウ. 地域教育協議会
3. 今後の課題（学校教育の目標と地域協力、学校の組織経営を理解する。）
4. まとめと反省
5. 参考文献
6. 謝辞

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：宮里時子

1. テーマ

地域と学校とボランティアをつなぐためには
～子どもたちの笑顔がみたい～

2. 項立て（概要でも良い）

はじめに

1. ボランティアの基本について
2. 地域のボランティアについて
3. 学校の特徴とボランティアに求めるものについて
4. コーディネーターの必要性について
5. つなぐ、知らせる、育てる、受けとめ、支えるには
6. ボランティアコーディネーターの役割

おわりに

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：宮平 千夏

1. テーマ

子どもの「夢」実現サポーター
(キャリア教育支援プラン)

2. 項立て (概要でも良い)

1. テーマ設定理由
2. 本論
 - (1) 地域の教育力 (家庭教育から地域へ)
 - (2) 「よのなが科」 (開かれたネットワーク型授業)
 - (3) 「クワ」の習慣 = ミッションについて
 - (4) 子どもたちに「未来の学力」を
3. 考察
4. 今後の課題 まとめ
5. 参考文献 謝辞

